

またまた大寒波がやってきました。一年で一番寒い時期です。運動場は凍り、気温が上がってくると、この辺りの方言で言うと「ジュルジュル」になってきます。これ以上のピッタリくる表現はありませんね。市外出身の職員が、「ぬかるむ」なんて言っていますが、そんな言葉では加東の者には伝わりません。話は逸れましたが、運動場の鉄棒も凍っています。しかし、その冷たい冷たい鉄棒を握って、腕支持後方回転の練習をしている3年生の女の子がいます。上手にできる子が楽しそうに回っています。できない子が教えています。できない子もがんばっています。学ぶとは、楽しさにつながり



北播駅伝大会。冷たい空気を挑む心が切り裂いていきます。560番が南っ子。隣には社小の子が。その隣りには滝野東小の子が。がんばれ、加東っ子！

だなあとつくづく思います。

「考える楽しさを味わい、学びと仲間と自分を活かす授業」が、本校がめざしている授業の姿です。ペアやグループや全体で、互いの学びを分かち合いながら、また「分からない」をできる限り解決し合いながら、学ぶ楽しさを伝えてやりたいと思っています。今は、そんな授業のまよめの時期になりました。来週土曜日にある学校オープンでは、それぞれの学年の楽しさにつながりに満ちた授業をどうぞご参観ください。

初めに少し触れた方言ネタですが、わたしが校内放送で、「雨がパラパラと降ってきたので……」というアナウンスをしたのを聞いた職員が、「それはポツポツでしょう。」とか、「いやいやピリピリでしょう。」とか、注文をつけてきました。



伝の助マラソン大会。参加者は、なんと約3,700人！その中に南っ子もしっかりいます。挑め南っ子。



耐寒駆け足の最後を飾る校内駅伝大会が近づいてきました。頭を突き合わせて走る順番を相談しています。早速、タスキの受け渡しの練習もしていました。

なんと、「ピリピリ派」が多かったです。感電しそうですが、ピリピリでしか表現できない雨があるようです。まあ、いずれにしてもパ行で始まるということです！？



今年3回目の啓発朝会。今回は、「くれよんのくろくん(なかや みわ作・絵)」を、職員が読んで聞かせてくれました。わがままだけではみんなが楽しくなれない、誰にも良さがあってそれを認め合うことが大切なこと。「よして〜」「いいよ〜」の普段の生活のことを思い浮かべながら聞いたのではないのでしょうか。